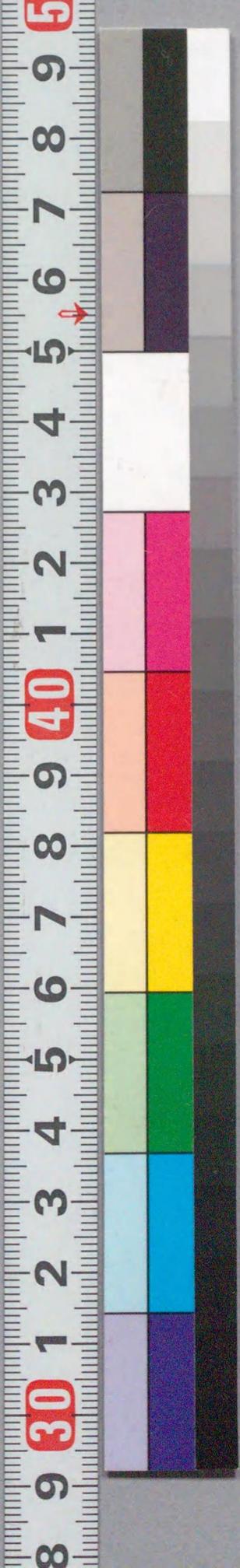


207  
621



国立国会図書館 笑府衿裂米 207-621

ガラス使用

笑府衿裂米

通油町  
葛屋重三郎板

笑府衿裂米叙



中街の夕暮江戶糸の活きと  
三篇廻系及んで既小これと廢りとせん今也  
新作のわし世とよとも今日とる人の眼目  
心もまを古とせん小田原の夜も長波丁の  
虞溪も古は古とせし彩の彩とありしを黒羽三  
重の筆数のみより寧生在野の切立大あはれと  
あひまの糸と綴りしに之を初一の赤糸とるま  
ごと曲身言琴馬のりふ  
癸丑のしるし物ぬの風光あり  
まよ山小のりふ日



















207  
621

笑府衿裂米



国立国会図書館 笑府衿裂米 207-621



ガラス使用

